

第 6 8 回評価専門調査会 ヒアリング資料

「イノベーション創出基礎的研究推進事業」及び
「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」

平成 19 年 9 月 7 日

農林水産省農林水産技術会議事務局

競争的資金に係る平成20年度予算要求

事業名	20年度		(参考)19年度		備考
	予算要求額 (百万円)	予定課題数 (うち新規課題数)	予算額 (百万円)	課題数 (うち新規課題数)	
イノベーション創出基礎的研究推進事業	10,760	177 (80)	-	- (-)	新規分事業費:4,840百万円 (共通経費除く)
うち「新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業」継続課題分	4,022	64 (0)	4,677	76 (20)	現行事業は平成19年度で終了 平成19年度以前に採択された課題は新規事業において引き続き実施
うち「生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業」継続課題分	1,687	33 (0)	2,285	42 (12)	現行事業は平成19年度で終了 平成19年度以前に採択された課題は新規事業において引き続き実施
新たな農林水産政策を推進する 実用技術開発事業	8,969	307 (121)	-	- (-)	新規分事業費:5,025百万円 (共通経費除く)
うち「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」継続課題分	3,816	186 (0)	5,220	266 (73)	現行事業は平成19年度で終了 平成19年度以前に採択された課題は新規事業において引き続き実施

研究者・生産現場の創意工夫を活かす競争的研究資金の再編充実

次世代を担う人材への投資

戦略重点科学技術(ライフ)

民間、大学、都道府県、独立行政法人等の研究機関・生産現場から課題を募り、農林水産業・食品産業の発展に貢献する革新的基礎・基盤技術の開発や現場の課題に対応した実用技術の開発を促進。

【イノベーション創出基礎的研究推進事業 10,760(6,962(注1))百万円】

【新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業 8,969(5,220(注2))百万円】

【産学官連携による食料産業等活性化のための新技術開発事業(継続課題分のみ) 422(661)百万円】

注1は「新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業」及び「生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業」の19年度予算の合計

注2は「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」の19年度予算を記載。

【再編充実の基本的考え方】

- 競争的資金制度については、農林水産業・食品産業の発展を図る上で、プロジェクト研究等と並ぶ重要な研究開発推進手段として位置づけており、以下の観点に立って、研究開発の発展段階や特性に応じて、基礎から応用、実用化まで一体的に推進しうる資金制度に再編

農林水産省の研究資金制度としての目的、政策性を明確化しつつ、わかりやすく弾力的な運用を可能とする事業、タイプの大括り化

イノベーションの創出、研究の着実な発展のための切れ目のない(シームレスな)制度の構築

若手研究者の育成やベンチャー企業の育成を行う仕組みの充実

本省直轄資金について、アウトソーシングの活用拡大等による効果的・効率的な運営体制の整備

なお、間接経費30%の措置については引き続き実施

- 現行の4事業を、基礎・応用段階に対応した「イノベーション創出基礎的研究推進事業」、開発・実用化段階に対応した「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」の2本の事業に再編

【事業再編の姿】 ～ 19年度

新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業

リスクの高い基礎研究の推進

(若手研究者支援の研究タイプを設定)

対象: 大学、独法、公立試験研究機関、民間企業等

生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業

将来的な新産業の創出につながる応用研究の推進

(起業化促進型の研究タイプを設定)

対象: 民間、大学、独法等で構成されるコンソーシアム

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業

現場に密着した実用化研究の推進

「全国領域設定一般型」、「同リスク管理型」、
「同輸出促進型」、「地方領域型」、「地域活性化地域競争型」、「同広域ニーズ・シーズ対応型」、
「同現場連携支援実用化」、「促進型」等多数の研究区分を設定

対象: 公立試験研究機関、独法、大学、民間企業、生産者等で構成される研究グループ

産学官連携による食料産業等活性化のための新技術開発事業

(新規課題の採択は19年度まで、20年度は継続課題のみ実施)

民間企業を主体とした実用化研究の推進

対象: 大学・独法等と連携する民間企業等

見直しの観点

- ・わかりやすい事業に再編
- ・切れ目のない支援
- ・進行管理体制の充実

20年度～

イノベーション創出基礎的研究推進事業

研究者の自由な発想を重視した基礎、応用段階の研究

- ・若手育成枠を設定し、採択数増加など、若手研究者支援の充実
- ・ベンチャー育成枠を設定し、段階的に研究開発ベンチャーを育成

技術シーズ開発型

研究者の独創的アイデア、萌芽段階の研究を基に、新たな技術シーズを開発する基礎研究

発展型

「技術シーズ開発型」及び他の研究制度で開発された技術シーズを実用化に向け応用・発展させる研究

対象: 大学、独法、公立試験研究機関、民間企業等

新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業

研究領域設定型

行政部局等からの要請に基づき、農林水産政策推進上の重要性等を勘案して、研究領域を設定

現場提案型

地域における自由な発想を生かして現場から提案

緊急対応型

年度途中で突発的に生じた政策課題に対応

対象: 公立試験研究機関、独法、大学、民間企業、生産者等で構成される研究グループ

【再編後の事業の概念図】

